

日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設について

1 趣 旨

「日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）」の運営にあたっては、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質を確保する観点から、事業者は、地方公共団体が設置する協議会等に対し、定期的に（年1回以上）事業の実施状況等を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないと基準省令第213条の10に定められています。

また、都道府県知事が必要と認める場合には、事業指定の申請にあたり、協議会等に対し、運営方針や活動内容等を説明し、評価を受け、その内容を知事に提出することとされています。

今回、次の事業所が開設予定のため、評価（要望、助言等）を行うものです。

2 開設予定事業所

項 目	内 容
運 営 法 人	(株) ナイスマン (岐阜県多治見市)
事 業 所 名	障がい者グループホーム もも福 笠木
開 設 予 定 地	大垣市笠木町字天王129-1
事業開始予定年月日	令和6年9月（予定）
定 員	20名
運 営 方 針 等	【資料No.2-2】共同生活援助事業所の申請調書のとおり

3 評価（要望・助言）の視点

- ①地域に開かれた運営（地域住民との交流の機会の確保、ボランティア受入等）
- ②短期入所の併設（緊急的利用のニーズへの対応等）
- ③支援の実施（利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援、支援の質の確保、重度化・高齢化等のニーズへの対応等）
- ④利用者の状況（障害特性（医療的ケア・強度行動障がい）のある方の受入等）

地域生活支援の中核的な役割を担う日中サービス支援型グループホームの創設

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定により創設される「日中サービス支援型グループホーム」は、障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された共同生活援助の新たな類型であり、短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待される。

